

長崎・ヒバクシャ医療国際協力会研修生が学長を表敬訪問



記念撮影

7月27日(水),長崎・ヒバクシャ医療国際協力会(NASHIM)の招きで来崎し,本学において放射線被ばく者医療に関する医学研修等を受ける研修生6名が齋藤学長を表敬訪問しました。

研修生は,チェルノブイリ原発事故周辺諸国のロシア,ウクライナ,ベラルーシ,及び旧ソ連の核実験場があったカザフスタン共和国で放射線被ばく者の治療にあたっている医療従事者で,本学医学部及び医学部・歯学部附属病院を中心に8月24日(水)までの約1ヶ月間,放射線被ばく者への医療や健康管理等に関する研修を行う予定です。

学長との懇談は,片峰理事,医歯薬学総合研究科の柴田教授を交え,研修生から医師の派遣及び研修生の受入れに対する謝辞が述べられ,長崎や旧ソ連の被ばくの歴史や齋藤学長がウクライナを訪問した際のことなどについて,和やかに行われました。

(総務部学術国際課)